



分解組立用エンジン4台を寄贈いただきました。

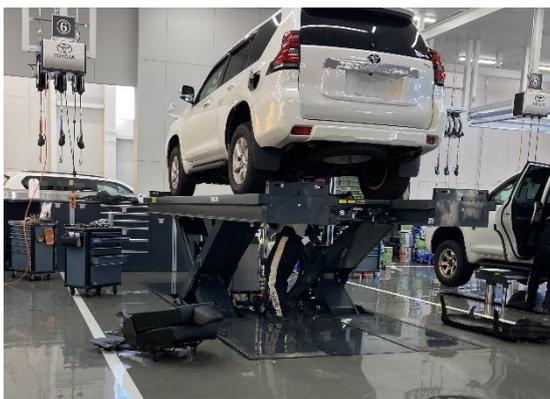
産業界からのプレゼント！

日本自動車教育振興財団から生徒の学習用として126ccのエンジン教材をいただきました。今回、鳥取県では本校と鳥取工業高校、倉吉総合産業高校が各校同じエンジンを4台ずついただきました。

実物に触れてみることは技術技能を高める上で大切なことです。理論は教科書から学ぶことができます。しかし、何事も実際には様々な要素や誤差があり理屈どおりにはいかなものです。本物に触れて、重さ、材質、動作音、熱など五感をフル活動させ、技術を基に技能を高める必要があります。

今回の贈呈式は、日本自動車販売協会連合会鳥取県支部、鳥取県自動車整備振興会、日本自動車連盟鳥取支部の代表の方々が参列され、鳥取トヨタ自動車株式会社米子東店で行われました。

式典後には、新築されたサービス工場の見学をさせていただきました。工場内は広く、天井は5mと高くし、山陰地方で唯一の5tのリフトが設置され、マイクロバスなどもリフトアップ可能とのことでした。最大の特徴は現場の声を基に職場環境が改善された工場であることです。オイル交換では、新しいオイルは天井から吊り下がるリールから供給され、デジタルメーターで数量を見ながら給油し、



廃油は湯庫内の廃油タンクへ自動で圧送されます。また、整理整頓がしやすい配置となっており、作業環境は格段に改善されていました。さらに、衛生面や安全面でも働きやすい改善がありました。工場内はエアコンが整備され、暑い夏も寒い冬も快適に作業が行えます。また、写真のように車をリフトアップした時、ピットカーバーが設置されていることによってピットから脱落する事故を予防しています。

産業界からは最新の機器を導入して学習すべきだというご意見をよくいただきますが、県立高校では高額な機器を頻繁に購入する予算を獲得することは難しい状況です。そのため、今回のように産業界から教材を寄贈していただけることは非常にありがたいことと感謝申し上げます。

校長 松川 明義



【行事予定】17日(水)：人権教育LHR 1年 人権教育講演会 2年

18日(木)：電気科課題研究発表会

19日(金)：建設科課題研究発表会 情報技術検定

週末の大会 スキー部 国体予選 クロスカントリー選手権大会



米工 HP